

令和元年度 地域福祉コーディネーターリーダー研修会 開催要綱

1. テーマ 住民と協働する個別支援ワーカーの役割と活動実践の視点、リーダー養成

2. ねらい

地域の福祉・生活課題が多様化し潜在化する中で、住民同士がお互いの困り事に気づき、ともに助け合う地域社会の実現が求められています。そのためには、住民と協働して支援を必要とする人に気づき、支援について調整し、あるいは新たな仕組みづくりや地域社会への問題提起等に取り組むワーカーの存在が不可欠です。

「地域共生社会」の実現をめざし、住民が主体的に地域課題を把握し解決するための仕組みづくりと、複合化・複雑化した課題を受け止めながら、包括的・総合的な相談支援体制の確立に向けた新たな地域福祉施策がすすめられるなか、社協における総合相談・生活支援体制の強化とその具現化を担うワーカーの力量を高めることが一層求められています。

そこで本研修会は、ワーカーの役割を再確認し、住民との協働による福祉・生活課題への気づき、ケースの発見、そして支援の構想における基本的な視点について、講義や事例解説等から学び、ワーカーとしての力量の向上や各地域において学びの機会を増やすリーダー養成を目的に開催します。

3. 主催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

4. 日時 令和元年 9 月 5 日（木）～9 月 6 日（金）

5. 会場 タイム 24 ビル（東京都江東区青海 2-4-32）

6. 対象 ○ 住民と協働して個別支援に取り組む社協職員
（コミュニティソーシャルワーカー、コミュニティワーカー、地区担当職員等）
○ 都道府県・指定都市社会福祉協議会職員

7. 定員 150 名（先着順／定員になり次第、締切とさせていただきます）

8. 参加費 5,000 円（税込）

9. 事前・事後課題

- ① 市区町村社協からご参加の方、都道府県・指定都市社協からご参加の方とも、事前課題があります。詳細は、別添の「事前課題について」をご覧ください、期日までにご提出ください。
- ② 研修受講後に事後課題の提出もごさいますので、予めご承知おきください。

※事前課題の提出が研修参加の条件となりますので、ご承知おきください。

※各課題の様式データを全社協のホームページ (<http://www.zcwvc.net/>) に掲載を予定しております。ご利用ください。

10. 内 容

【1日目／9月5日(木)】

13:30～13:40	開会・挨拶・オリエンテーション	
13:40～14:10	基調説明「地域福祉をめぐる動向と地域福祉コーディネーターへの期待」 (30分) 全国社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉をめぐる施策の動向や社協等における地域生活支援の取り組みなどを 知る。	
14:10～15:20	講義1 「地域福祉コーディネーターの役割」 (80分) 講 師 同志社大学社会学部 教授 上野谷 加代子 氏 住民と協働による個別支援が求められる社会的背景やその現状、地域の実情、 住民と協働する個別支援ワーカーの役割等、基本について学ぶ。	
15:20～15:35	休憩 (15分)	
15:35～17:15	講義2 「豊中市における コミュニティソーシャルワーカー (CSW) の位置づけと役割」 (講義 90分+振り返り 10分) 講 師 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏 振り返り(進行) 同志社大学社会学部 准教授 野村 裕美 氏 豊中市社協におけるコミュニティソーシャルワーカーとしての実践を通じて、 住民と協働する個別支援ワーカーの役割や内容を理解する。また、生活困窮者自 立支援制度への取り組みもふまえ、これからの社協の総合相談・生活支援のあり 方を考える。	
17:30～19:00	選択プログラム (※)	
	(1) 野村先生の特別な演習 講師：同志社大学社会学部 准教授 野村 裕美 氏 リーダーをめざす参加者向けの特別 演習です。グループ討議等における ファシリテーションの基礎を学び、専 門職としての力量の向上をめざしま す。	(2) 情報交換会 全国から参加した研修者同士で、日々の 業務や思い、悩みなども含めて、飲食しな がら交流を図ります。

※ 選択プログラム「野村先生の特別な演習」については、参加対象を過去に本研修
に参加されている方や地域福祉コーディネーターとしての経験年数が長い方等を
想定しています。希望される方は積極的にご参加ください。

【2日目／9月6日(金)】

9:00～10:45	<p>セッション</p> <p>第1部「住民との協働によるニーズの発見と共有を考える」(105分)</p> <p>ファシリテーター 同志社大学社会学部 准教授 野村 裕美 氏</p> <p>助言者 同志社大学社会学部 教授 上野谷 加代子 氏</p> <p>豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏</p> <p>実際の相談事例等を用いて、住民と協働する個別支援ワーカーは、住民との関わりの中で「ニーズの発見」や「ニーズの共有」をどのようにすすめていくのか。その基盤となる地域への働きかけ、地域づくりの視点を、セッションや参加者同士のディスカッションのなかで学ぶ。</p>
10:45～11:00	<p>休憩 (15分)</p>
11:00～14:00 (途中昼食・休憩 60分をはさみます)	<p>セッション</p> <p>第2部「ニーズの見立て方、支援の構想の仕方考える」(120分)</p> <p>ファシリテーター 同志社大学社会学部 准教授 野村 裕美 氏</p> <p>助言者 同志社大学社会学部 教授 上野谷 加代子 氏</p> <p>豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏</p> <p>実際の相談事例等を用いて、相談内容(支援ニーズ)における住民との協働の必要性の見立て、協働に必要な情報収集や関係者への働きかけ等、住民との協働による個別支援を構想していくための思考や行動方法について、セッションや参加者同士のディスカッションのなかで学ぶ。</p>
14:00～14:15	<p>休憩 (15分)</p>
14:15～15:15	<p>研修会の振り返り・まとめ (60分)</p> <p>助言者 同志社大学社会学部 教授 上野谷 加代子 氏</p> <p>豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長 勝部 麗子 氏</p> <p>同志社大学社会学部 准教授 野村 裕美 氏</p> <p>進行 全国社会福祉協議会 地域福祉部</p> <p>グループ討議と助言者との意見交換によって、研修を通じて、受講者が気づいたこと、学んだことを全体で共有する。</p>
15:15～15:30	<p>閉会</p>
(15:30～15:45)	<p>「野村先生の特別な演習」の受講者のみ振り返り</p>

11. 参加の申込にあたって

別添の参加・宿泊・昼食申込書により、名鉄観光サービス㈱MICE(マイス)センター宛にお申し込みください。事前課題の提出を確認した方には、折り返し同社より参加券および参加費の振込依頼書等をお届けします。(事前課題未提出の方には参加券は送付されません)

12. 昼食 1,100円(弁当／お茶付き・税込) ※希望者のみ

13. 情報交換会参加費 500円(税込) ※希望者のみ

14. 申込締切 令和元年8月23日(金) [定員になり次第、締切とさせていただきます]

※ 事前課題の提出期限も 8 月 23 日（金）です。

※ 参加申込と事前課題の提出は別のものであり、同時である必要はありません。

※ 事前課題の提出期限は 8 月 23 日ですが、それよりも前に定員に達した場合は締切とさせていただきますので、参加をご希望される方は先に参加申込をお済ませください。

※ 参加・宿泊・昼食申込書の提出先は名鉄観光サービス(株)MICE（マイス）センター、事前課題の提出先は全国社会福祉協議会地域福祉部となります。

15. 個人情報の取り扱い

本研修につきましては、個人情報保護における取扱契約を「名鉄観光サービス(株)MICE（マイス）センター」と交わしたうえで、同社に上記の業務を委託しております。「参加・昼食・宿泊申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的のみ利用させていただきます。なお、本研修会の資料に参加者の氏名・所属・役職を掲載いたします。

16. 研修内容に関するお問い合わせ先

全国社会福祉協議会地域福祉部 担当：赤坂、根岸

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL：03-3581-4655 FAX：03-3581-7858 E-mail：z-chiiki@shakyo.or.jp

※参加等の申込・参加券の送付・参加費の支払いについては、別紙の「参加・昼食・宿泊のご案内」をご覧のうえ、名鉄観光サービス新霞が関支店にお問い合わせください。

17. 会場のご案内

タイム 24 ビル 13 階研修室 134 他

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-32（ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車徒歩 2 分）

● タイム24ビルへのアクセス（☒：周辺の宿泊施設）

